

山運輸第278号の2
令和8年9月1日

一般乗用旅客自動車運送事業者 各位

東北運輸局山形運輸支局長
(公 印 省 略)

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の
判断結果及び適正と考えられる車両数について

標記について、令和8年8月31日付け東自旅二第609号の2により東北運輸局
長から別添のとおり通達があったので、了知願います。

東自旅二第609号の2
令和8年8月31日

山形運輸支局長 殿

東北運輸局長
(公印省略)

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の
判断結果及び適正と考えられる車両数について

標記について、「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」（平成26年1月27日付け公示第96号）及び「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」（平成21年法律第64条）に基づき、公示することとしたので了知するとともに貴支局掲示板等に掲示されたい。

また、関係団体等に対し周知を図り、事務処理上遺漏のないように取り計らわれたい。

公 示

公示第 6 4 号

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の 判断結果及び適正と考えられる車両数について

平成 2 6 年 1 月 2 7 日付け公示第 9 6 号「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果及び「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」(平成 2 1 年法律第 6 4 号)における準特定地域の適正と考えられる車両数(以下「適正車両数」という。)を別表のとおり公示する。

なお、需給状況の判断結果の算定基礎数値及び適正車両数の算定基礎数値は、別紙のとおりである。

令和 8 年 8 月 3 1 日

東北運輸局長 三宅 正寿

(別表)

都道府県	営業区域名 (交通圏)	必要車両数 (両)	令和7年度末 車両数 (両)	増加可能 車両数 (両)	適正車両数 (両)		令和7年度末車両数と 適正車両数(上限)との 乖離率 (%)
					上 限	下 限	
青森県	青森交通圏	469	540	▲ 71	698	469	-29.3
	八戸交通圏	306	417	▲ 111	439	306	-5.3
	弘前交通圏	279	353	▲ 74	388	279	-9.9
岩手県	盛岡交通圏	456	588	▲ 132	693	456	-17.9
宮城県	仙台市	1728	2021	▲ 293	2420	1728	-19.7
秋田県	秋田交通圏	289	400	▲ 111	447	289	-11.8
福島県	福島交通圏	293	405	▲ 112	411	293	-1.5
	郡山交通圏	321	563	▲ 242	505	321	10.3
	会津交通圏	119	193	▲ 74	183	119	5.2
	いわき市	244	333	▲ 89	327	244	1.8
山形県	山形交通圏	274	428	▲ 154	471	274	-10.0

※上記「令和7年度末車両数」は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（以下「タクシー特措法」という。）第2条第9項に定める事業用自動車（個人タクシーを除く。）の数である。

(別紙)

1. 算定方法

輸送需要量 ÷ (平均総走行キロ × 平成13年度実車率 ÷ 平均延実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 適正車両数の算定基礎数値

都道府県	営業区域 (交通圏)	輸送需要量の算定		適正車両数の算定				
		令和7年度末 総実車キロ	平均対前 年度比率*1	平均総走行キロ *2	平成13年度 実車率	平均延実働 車両数*3	実働率	
							上限値算出用 *4	下限値算出用 *4
青森県	青森交通圏	7,286,007	1.03	19,611,054	0.33	137,132	0.62	0.92
	八戸交通圏	5,093,579	1.02	13,202,458	0.39	94,086	0.59	0.84
	弘前交通圏	3,475,726	1.02	9,739,160	0.34	77,709	0.58	0.81
岩手県	盛岡交通圏	7,841,426	1.01	19,869,192	0.41	149,560	0.58	0.87
宮城県	仙台市	31,017,658	1.07	76,286,339	0.38	500,915	0.65	0.92
秋田県	秋田交通圏	4,519,832	1.03	12,218,369	0.38	92,415	0.57	0.88
福島県	福島交通圏	4,498,048	1.05	10,476,657	0.44	91,354	0.62	0.87
	郡山交通圏	5,357,544	1.03	13,949,143	0.42	110,292	0.57	0.90
	会津交通圏	1,648,549	1.00	4,282,891	0.44	42,985	0.56	0.86
	いわき市	3,877,853	1.00	8,912,047	0.45	71,970	0.59	0.79
山形県	山形交通圏	4,011,046	1.06	9,587,361	0.43	84,498	0.50	0.87

※「平均対前年度比率」、「平成13年度実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しない。

*1.....「平均対前年度比率」は、令和3年度から令和7年度における総実車キロの対前年度比率の平均値

*2.....「平均総走行キロ」は、令和3年度から令和7年度における総走行キロの平均値

*3.....「平均延実働車両数」は、令和3年度から令和7年度における延実働車両数の平均値

*4.....適正車両数「上限値」の算出にあたっては令和2年度から令和6年度における実働率の平均値を適用

適正車両数「下限値」の算出にあたっては平成13年度の実働率を適用

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

青森県

青森交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
7,472,367	7,286,007	1.03

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
469	7,472,367	19,611,054	0.33	137,132	0.92

八戸交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
5,177,414	5,093,579	1.02

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
306	5,177,414	13,202,458	0.39	94,086	0.84

弘前交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,557,295	3,475,726	1.02

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
279	3,557,295	9,739,160	0.34	77,709	0.81

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

(別紙)

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

岩手県

盛岡交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
7,954,429	7,841,426	1.01

必要車両数 A ÷ (D×E ÷ F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
456	7,954,429	19,869,192	0.41	149,560	0.87

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

(別紙)

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

宮城県

仙台市

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
33,043,223	31,017,658	1.07

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
1,728	33,043,223	76,286,339	0.38	500,915	0.92

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

(別紙)

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

秋田県

秋田交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,665,318	4,519,832	1.03

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
289	4,665,318	12,218,369	0.38	92,415	0.88

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

(別紙)

1. 算定方法

必要車両数 = 輸送需要量 ÷ (総走行キロ × 実車率 ÷ 延べ実働車両数) ÷ 365 ÷ 実働率

2. 必要車両数の算定基礎数値

福島県

福島交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,745,020	4,498,048	1.05

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
293	4,745,020	10,476,657	0.44	91,354	0.87

郡山交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
5,541,865	5,357,544	1.03

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
321	5,541,865	13,949,143	0.42	110,292	0.90

会津交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
1,641,577	1,648,549	1.00

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
119	1,641,577	4,282,891	0.44	42,985	0.86

いわき市

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,892,893	3,877,853	1.00

必要車両数 A ÷ (D×E÷F) ÷ 365 ÷ G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
244	3,892,893	8,912,047	0.45	71,970	0.79

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

山形県

山形交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和7年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,265,872	4,011,046	1.06

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
274	4,265,872	9,587,361	0.43	84,498	0.87

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)及び実働率(G)は平成13年度の実績値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。